

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		漁港機能高度化目標	29-1
事業実施主体		坊勢漁業協同組合	
実施地区名		姫路市家島町坊勢	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度(平成29年度繰越)	令和3年度
交付金額		70,300千円	
事業計画の内容		兵庫県下有数の水揚げ量を誇る地域でありながら産地としての認知度が低いことから、漁業体験見学船を整備することにより、都市部住民との交流機会を創出し、地域の活性化を図ることを目的とする。 漁業体験見学船(19トン型、80名定員)	
評 価	成果目標	体験、見学船の整備を行い都市と漁村の交流機会を創出する。	
	現状値	(令和3年度末時点)	72回
	目標値	(令和3年度)	109回
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、コロナウィルス感染拡大により。感染症対策を講じるも、相次ぐキャンセルや集団行動を避ける心理により、72回の実施に留まった。	
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標達成率は66%に留まったが、漁協直営「姫路まえどれ市場」で提供する地元水産物を中心としたバーベキュー施設利用(食事の提供)と漁業体験プログラムをとおして、地域資源への理解・関心を深め、漁村のもつ「食」の魅力を発信することで、魚介類の消費拡大に貢献した。	
	(3)所見	漁業見学船を整備した初年度から予約が入り順調に推移していたが、コロナウィルスの感染拡大により、令和2年3月頃から予約のキャンセルが入り始めた。令和2年度では、22回、令和3年度では19回のキャンセル、また、集団行動を避ける心理により、予約を控えた団体等を考慮すると、コロナウィルス感染症の拡大がなければ目標を達成することができたと推認する。	
(4)評価機関への意見等	コロナウィルス感染症の蔓延により、目標を達成することができなかったが、コロナウィルスが終息すれば、計画を達成することが可能であると考える。		
今後の改善方向等に関する分析		コロナウィルス感染症の蔓延により、目標を達成することができなかったが、コロナウィルスが終息すれば、計画を達成することが可能であると考える。	

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	29-20
事業実施主体		魚住水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		江井ヶ島	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	令和3年度
交付金額		28,650,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機16連1基 付帯施設1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	15,463,138円
	目標値	(令和3年度)	62,321,984円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり R2年漁期は、少雨と珪藻プランクトンの増殖により、11月の本張り前から栄養塩濃度が低く、張込みが半月ほど遅れるとともに12月下旬と1月下旬の強風によりノリ芽流出もあり、生産枚数が少なかった。単価についても商社の在庫状況や品質低下により下落し、目標値に対して20%にとどまった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	目標値に対して現状値が20%にとどまったが、大型ノリ自動乾燥機の整備により修繕費が削減され、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済の活性化に寄与した。	
	(3) 所見	目標値に対して20%の達成率であるが、自然要因によるものであり、栄養塩濃度が通常の状態であれば目標値を達成できる見込みである。	
	(4) 評価機関への意見等	通常の栄養塩があれば目標値は達成できると考えられる。	
	今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的	水産業経営の強化		
政策目標	資源増養殖目標	29-21	
事業実施主体	中川水産ノリ養殖漁業協業体		
実施地区名	姫路市家島町家島		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	平成29年度	令和3年度	
交付金額	4,068千円		
事業計画の内容	活性タンクを新設することで刈取可能容量が増大し、悪天候時の刈残しによる原藻の流出、過剰な詰込による品質低下等が軽減され、ノリ生産に係る生産性の向上を図る計画となっている。(40トン型活性タンク1台)		
評価	成果目標	ノリ養殖関連施設整備による収入の向上	
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる)	64,630,248円
	目標値	(令和3年度)	69,064,759円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、ノリ活性タンクの導入により、導入前と比較して生産額は大幅に減少しているが、計画していた悪天候の日数が4日間あったことから、計画に近い効果が発現された。	
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が93.6%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。	
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、悪天候の日数が4日間あり、事前に刈込ができたことにより、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。	
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常の栄養塩であれば、計画は達成可能である。		
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

兵庫県水産漁港課

政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	資源増養殖目標	29-22
事業実施主体	マル正水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名	姫路市家島町坊勢	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年度	令和3年度
交付金額	32,076千円	
事業計画の内容	ノリ高性能刈取船を導入することにより、刈取能力の不足により発生していた刈り残しや悪天候時のロスを最小限に留めて生産性の向上を図る。また、近年、高齢化が進むなか、本施設の導入により、漁労作業の省力化を進め、漁労作業の安全確保を図る。整備内容：ノリ高性能刈取船(9.7t,423w)	
評価	成果目標	生産金額の向上
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる) 30,545,959円
	目標値	(令和3年度) 59,150,618円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、ノリ高性能刈取船の導入により、導入前と比較して生産量は減少しているが、省力化の効果は発現している。
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が51.6%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、省力化により経費の抑制が図られ、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常の栄養塩であれば、計画は達成可能である。	
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的	水産業経営の強化		
政策目標	資源増養殖目標	29-23	
事業実施主体	ヤマ武水産ノリ養殖漁業協業体		
実施地区名	姫路市家島町坊勢		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	平成30年度(平成29年度繰越)	令和3年度	
交付金額	32,076千円		
事業計画の内容	ノリ高性能刈取船を導入することにより、刈取能力の不足により発生していた刈り残しや悪天候時のロスを最小限に留めて生産性の向上を図る。また、近年、高齢化が進むなか、本施設の導入により、漁労作業の省力化を進め、漁労作業の安全確保を図る。整備内容:ノリ高性能刈取船(9.7t,423w)		
評価	成果目標	生産金額の向上	
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる)	45,504,476円
	目標値	(令和3年度)	74,029,483円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、ノリ高性能刈取船の導入により、導入前と比較して生産量は減少しているが、省力化の効果は発現している。	
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が61.5%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。	
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、省力化により経費の抑制が図られ、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。	
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常栄養塩であれば、計画は達成可能である。		
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。		

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	29-24
事業実施主体		三共水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		湊	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	令和3年度
交付金額		27,350,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機1基 周辺機器1式	
評価	成果目標	生産金額の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) 27,984,878円	
	目標値	(令和3年度) 25,729,629円	
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、ノリ生産額について、計画時と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較し生産効率が向上し、生産力向上効果が発現している。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	大型ノリ自動乾燥機の導入により、水揚げ金額が108.8%の増となり、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
(3) 所見	目標が達成され、ノリ養殖漁業の経営体質改善が図られた。		
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、適正に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油高騰や漁場環境の悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから導入機器を活用し経営の効率化に努める。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	資源増養殖目標	29-25
事業実施主体	ヤマ彦水産ノリ養殖漁業協業体	
実施地区名	姫路市家島町坊勢	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年度(平成29年度繰越)	令和3年度
交付金額	52,034千円	
事業計画の内容	大型ノリ自動乾燥機を導入することにより、生産性の向上と生産経費の削減を図ることで経営体質の強化する。近年、高齢化が進むなか、本施設の導入により、労働環境の改善が図られる。整備内容:大型ノリ自動乾燥機(20連)	
評価	成果目標	ノリ養殖関連施設整備による収入の向上
	現状値	(令和3年度末現在 聞き取りによる) 90,538,618円
	目標値	(令和3年度) 123,449,723円
	(1)現状値の説明	計画と現状値の比較を行った結果、大型ノリ自動乾燥機の導入により、導入前と比較して生産量は減少しているが、省力化の効果は発現している。
	(2)地域への経済効果(ハード事業のみ)	目標に対して現状値が73.3%に留まったが、当該施設を整備することにより生産量の増大を図る計画としており、計画が達成されれば、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済への活性化に寄与される。
	(3)所見	令和元年漁期では目標を達成していたが、令和3年度は極端な栄養塩不足により、計画を上回る速さで色落ちが発生したことで目標が達成できなかった。水揚げ金額は減少したが、省力化により経費の抑制が図られ、ノリ養殖漁業の経営体質強化が図られた。
(4)評価機関への意見等	令和元年漁期では目標を達成していたことから、通常栄養塩であれば、計画は達成可能である。	
今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	29-26
事業実施主体		ヤマコ水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		東二見	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	令和3年度
交付金額		35,000,000円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機20連1基 付帯施設1式	
評価	成果目標	漁業所得の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	387,031円
	目標値	(令和3年度)	35,656,075円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり R2年漁期は、少雨と珪藻プランクトンの増殖により、11月の本張り前から栄養塩濃度が低く、張込みが半月ほど遅れるとともに12月下旬と1月下旬の強風によりノリ芽流出もあり、生産枚数が少なかった。単価についても商社の在庫状況や品質低下により下落し、目標値に対して1.1%にとどまった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	目標値に対して現状値が1.1%にとどまったが、大型ノリ自動乾燥機の整備により修繕費が削減され、ノリ養殖業が基幹産業である当該地区の地域経済の活性化に寄与した。	
	(3) 所見	目標値に対して1.1%の達成率であるが、自然要因によるものであり、栄養塩濃度が通常の状態であれば目標値を達成できる見込みである。	
	(4) 評価機関への意見等	通常の栄養塩があれば目標値は達成できると考えられる。	
	今後の改善方向等に関する分析	燃油の高騰や漁場環境悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから、より一層効率的な生産に努めながら、引き続き適切に活用していく。	



水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	29-27
事業実施主体		瀬戸内水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		富島	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	令和3年度
交付金額		3,148,000円	
事業計画の内容		異物形状選別器1式	
評価	成果目標	ノリ生産額の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる)	123,570,570円
	目標値	(令和3年度)	60,591,888円
	(1) 現状値の説明	別紙のとおり、ノリ生産額について、計画時と現状値の比較を行った結果、異物除去機の導入により、導入前と比較し生産効率が向上し、生産力向上効果が発現している。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	異物除去機の導入により生産額が203.9%の増となり、生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
	(3) 所見	目標が達成され、ノリ養殖漁業の経営体質改善が図られた。	
(4) 評価機関への意見等	成果目標を達成しており、適正に運営している。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油高騰や漁場環境の悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから導入機器を活用し経営の効率化に努める。	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		兵庫県水産漁港課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		資源増養殖目標	29-28
事業実施主体		柿本水産ノリ養殖業協業体	
実施地区名		育波	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	令和3年度
交付金額		2,862,000円	
事業計画の内容		異物形状選別器1式	
評価	成果目標	ノリ生産額の向上	
	現状値	(令和3年度末時点, 聞き取りによる) 71,088,152円	
	目標値	(令和3年度) 79,569,784円	
	(1) 現状値の説明	ノリの生産金額について、計画時と現状値の比較を行った結果、選別機の導入により労働改善効果は発現しているが、水温低下が遅く漁期が短くなったこともあり、ノリの生産金額は目標値に少し及ばなかった。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	目標の達成率は89.3%にとどまったが、ノリ選別機の導入により生産コストが削減され、ノリ養殖業が地域の基幹産業である当該地区の地域経済の活性化にも寄与した。	
	(3) 所見	目標が達成されなかったが、ノリ養殖漁業の経営体質改善に当該整備が寄与し経営体質強化が図られた。	
(4) 評価機関への意見等	通常の栄養塩があれば目標値は達成できると考えられる。		
今後の改善方向等に関する分析		燃油高騰や漁場環境の悪化等、ノリ養殖業を取り巻く状況は厳しいことから導入機器を活用し経営の効率化に努める。	